

馬車鉄道

交通手段の誕生

～交通の発展の歴史①～

明治39年に「湘南馬車鉄道株式会社」により、秦野から二宮間の9.6kmを結ぶ馬車鉄道が開通しました。

馬車鉄道は、レールの上を1頭の馬が貨車を引いて運ぶもので、速さは時速10km程度のゆっくりとしたものでした。1日に11往復し、終点までは約1時間を要しました。駅は、秦野、大竹、上井口、下井口、一色、中里、二宮の7駅ありました。



馬車鉄道